区教育行政の推進に向けた各校の取組みについての調査結果

① 【不登校対策】

各校において、現在、不登校対策（未然防止・初期対応・自立支援）として取り組んでいる内容について

家庭、保護者との連携	・担任や生活指導部による電話連絡、家庭訪問等 ・保護者との連携
教員間の連携、情報共有	・職員朝会や職員会議、生活指導部会の開催 ・職員会議（スクリーニング会議Ⅰ）や子どもサポート委員会（スクリーニング会議Ⅱ）の開催 ・担任、特別支援担当、養護教諭、担任外職員、SCやSSWなどが連携し、不登校児童を支援 ・人権課題検討委員会を実施し、不登校児童の把握と対応 ・小学校側で把握している新1年生（中学生）の情報の共有 ・長期欠席者確認シート及び児童生徒理解・教育支援シートの作成・活用
早期発見・情報収集	・早期発見、早期解決に向けた保護者へのアプローチ。 ・休みの連続や登校渋りがみられた場合の家庭訪問、保護者との連携 ・担任による、児童、家庭への日常的な対話 ・いじめなど生活指導に関わるアンケートの実施 ・教育相談週間をはじめとする相談体制
人員の配置・体制	・不登校児童担当教員の設置 ・生活指導支援員の活用
仕組みの活用・関係機関との連携	・「JOTOふらっと」などの適切な支援を行うための情報提供、SC（スクールカウンセラー）の活用 ・関係諸機関（こども相談センター、区役所等）との連携
登校支援、居場所の確保	・迎え、電話など登校支援 ・生活習慣から遅刻しがちな児童に対する登校支援 ・個々の状況に応じた段階的な登校支援（登校して担任と会ってから下校、午前中のみ登校、保健室で1時間程度過ごしてから教室へ向かう、等） ・職員室や保健室などの別室への登校 ・居場所の確保（保健室・校長室・特別支援学級など） ・児童理解の場の設定 ・仲間作りを意識した学校行事の実施
学習支援	・双方向通信（teams）を活用した放課後学習 ・在宅ネット学習支援サービスとの連携 ・eboardなど無料の学習支援サポート、インターネット学習「すらら」などの紹介・連携

②【不登校対策】

各校において、今後、取り組んでいきたい内容について

家庭・保護者との連携

- ・ SCとの相談に消極的な家庭への精神的なサポート体制の継続

人員配置・体制

- ・ 学びサポーター等の校内体制の整備

仕組みの活用・
関係機関との連携

- ・ 多様な面からの支援のため、区役所やこどもサポートネット等を通じたNPO法人等の専門機関との連携
- ・ 教育委員会・教育センターとの連携
- ・ こどもサポートネット活用した外部機関との連携

登校支援

- ・ 再登校できることだけを目標とせず、学習や友だちとのコミュニケーションを回復させ、自立して学校生活を送れるような支援が必要

学習支援
・ コミュニケーション

- ・ Teamsを活用した家庭学習支援や不登校児童との接点の構築
- ・ インターネット学習「すらら」の活用による家庭での学習支援体制強化
- ・ 教育クラウドプラットフォームサービス「まなびポケット」の利用

研修・啓発

- ・ 地域や保護者、教職員を対象とした人権課題に関わる研修会の実施
- ・ 様々な学びの在り方に係る校内研修の実施
- ・ 初期対応の重要性等、教職員による共通理解を大切にする

③ 【教科担任制】

教科担任制の実施について ※小学校のみ

教科担任制の実施校 ※一部実施含む **12校** (16校中)

実施方法について

- ・ 学年ごとに一部教科で実施
(例)

3年生 音楽

4年生 音楽・理科・社会

5年生 音楽・理科・図画工作・家庭科・道徳

6年生 音楽・理科・社会・家庭科・体育

教科担任制を利用していない主な理由について

- ・ 専科教員を配置している。
- ・ 小学校では従前より学年、教科によって専科としての実施形態がある。
- ・ 教職員の確保が難しい
- ・ 教職員数に余裕がないため、時間割の割り振りが難しい。
- ・ 教科担任制を実施している中学校と比較して、小学校は1校あたりの教員数が少ない。
- ・ 小学校教員免許において教科の専門性がないため、どの学年、どの教科も指導できる体制をとることが難しい

④【教員間の小中連携】

中学校下において取り組んでいる教員間の小中連携について

教員間の小中連携の主な取組み

研修・研究会	・ 学校行事や授業の参観 ・ 中学校下での公開授業 ・ 年次研修時の校種間連携 ・ 教科と領域の各部会（国語、社会、算数学、理科、外国語、音楽・図画工作・美術、保健体育、技術・家庭科、道徳、人権教育、特別支援教育、キャリア教育、保健）の開催と連携
会議・情報共有	・ 小中連携教員協議会の実施 ・ 児童、生徒の様々な課題対応における連絡会の実施 ・ 学校協議会での情報の共有 ・ 校長会、教頭会、教務主任会の実施 ・ 管理職同士の情報交換 ・ 卒業学年担任と中学校の連絡会、 ・ 中学校に進学する児童についての引継ぎ ・ 特別支援児童等についての情報共有 ・ 中学校下における地域民生委員を交えた情報交換
イベント・事業	・ 中学生の小学校での職場体験実施 ・ 中学校による6年生への出前授業 ・ 小学生の中学校での授業・部活動体験 ・ 児童会・生徒会交流 ・ PTAとの合同イベント ・ 地域行事への参画

取組推進に向けた主な課題や意見

- ・ 学校間での日程調整が困難
- ・ 校務支援システムを活用した行事等の情報共有が必要
- ・ デジタル化に向けた取り組みの必要性
- ・ 小中連携の意義について認識の共有